

ありば

福祉のまちづくり広報誌

「バリア」の逆は「ありば」。
バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、
「ありば」というタイトルにしました。
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介する広報誌、
それが「ありば」です。

VOL.40
2020



表紙／バイオリンをひくともだち 小田原 永汰(おだはら えいた)さんの作品

昨年開催された第70回記念鹿児島県高校美術展で、高校文化連盟大賞を受賞した、加治木養護学校に通う小田原さん（17歳）。難病のための医療的なケアを受けながら、普段から絵を描くことを楽しんでいるそうです。受賞作は、同じ学校に通う先輩をモデルに、アクリル絵の具やクレヨン、さらに紙粘土など複数の画材を組み合わせて描き上げました。バイオリンを弾く動画を見ながら仕上げた作品は、今にも音楽が聞こえてきそうな躍動感があります。



CONTENTS

[特集]

かごしま県民手話言語条例・
聴覚障害者が感じる日常の
社会的障壁

PAGE 1

ハードルを越えて

坂元 秀明さん

PAGE 5

バリアフリー最前線 フェリーミしま

PAGE 6

鹿児島県からのお知らせ

・障害者保健福祉大会

ありばヒューマンドキュメント
久木田 愛さん

PAGE 3

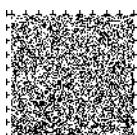
ありば通心
末吉点字教室

PAGE 4

鹿児島県からのお知らせ

・ヘルプカード
・アルコール関連問題啓発週間
・自殺に係る相談窓口の案内

PAGE 7



鹿児島県